

CONTENTS 目次

- 2 特集 やいたふるさとまつり 2026 縁
- 6 特集 よりみちから、つながる。
- 8 石仏案内帖・おうち給食 ほか
- 10 子育てひろば・図書館へ GO ! ほか
- 12 今月のニュース&トピックス
- 16 はつらつ通信
- 18 地域あれこれレポート
- 19 市からのお知らせ
- 28 クイズ&アンケート・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙は、やいたふるさとまつり 2026 で行われた、スペシャルゲスト DJ.Celly さんによるステージの様子です。「BON JOVI」の楽曲をはじめ、「ドラゴンボール」や「カリスマックス」など、世代を超えて楽しめる曲が次々と流れ、会場は一体となって盛り上がりました。

POPULATION 人口 (8月1日現在)

29,424 人 (△ 16)	出生	8 人
男 14,710 人 (△ 16)	死亡	32 人
女 14,714 人 (0)	転入	66 人
13,378 世帯 (△ 10)	転出	58 人
() 内は 7 月 1 日との比較	*住民基本台帳をもとに算出	
△は減		



特集

2026 やいたふるさとまつり 縁

書：加藤 靖子

祭りを支える人、祭りを楽しみにする人、それぞれの想いがつながり、矢板の夏を彩る「やいたふるさとまつり 2026」が開催されました。

台風の接近で開催が心配される中、願いが届いたかのように天候も持ちこたえ、会場にはたくさんの笑顔と熱気が。一人一人の「縁」が重なり、みんなでつくり上げた、今年のふるさとまつりを振り返ります。



和太鼓

オープニングアクトを務めたのは、野州轟一番太鼓の皆さん。力強い太鼓の音と勇ましいかけ声が会場いっぱいに響き渡り、祭りの始まりを華々しく盛り上げました。迫力ある演奏に、会場からは大きな拍手が送られました。



矢板四区・末広町のお囃子保存会による祭囃子が披露されました。お囃子を掛け合う「ぶつつけ」では、互いに負けじと熱のこもった演奏を繰り広げるなど、地域に受け継がれてきた祭りの音色が、会場に響き渡りました。

祭囃子



ラジオ

CRT 栃木放送「オトナミに揺られて」の公開収録が行われました。番組リポーターの鈴木景子さんと macotti さんによる軽快なトークのほか、イントロドンやビンゴゲームには、来場者も参加しました。



矢板音頭

初めに、地域おこし協力隊の坂和さんによる「矢板音頭教室」が開催され、参加した子どもたちには、先着でリンゴ型の鳴子「鳴りんこ」が配られました。

練習後、いよいよ盆踊りのスタート。事前エントリーした16チームによるチーム対抗盆踊りと一般盆踊りで、子どもから大人まで大きな踊りの輪が広がりました。

盆踊りアワードでは、ベストドレッサー賞や熱血ダンサー賞などが用意され、個性豊かな団体・個人が受賞。最後は、ニンテンドースイッチ2をはじめとする豪華景品が当たる「ご縁結び大会（抽選会）」も行われました。



チーム対抗盆踊り 出場者の皆さん



盆ジョヴィ

スペシャルゲストとして、盆踊りと洋楽ロックを融合させた「盆ジョヴィ」の仕掛け人で、SNSやメディアで話題を集めるDJ.Cellyさんが登場！

幅広い世代に親しまれる名曲が次々と流れ、会場の熱気も最高潮に。音楽に合わせて多くの人が踊り、やぐらを囲みました。

DJ.Celly



翌朝の「ゴミ拾いボランティア」には、雨が降る中、明治安田生命宇都宮支社矢板営業所と（株）ダイナムの皆さんが集まりました。祭りの余韻が残る会場を歩きながら、落ちていたゴミを一つ一つ拾い、会場をきれいに。祭りが終わった後も、地域のために動いてくれた皆さんに、感謝です。

祭りの後

紡いだ縁を、次の夏へ——。

たくさんの人が集まり、笑い、踊った一日。まつりをつくり上げてきた実行委員の皆さんの情熱が、人から人へと伝わり、大きな盛り上がりを生みました。

この日生まれたたくさんの「縁」と、今年の思い出を胸に、また来年。矢板の夏の風物詩が、これからも人と人をつなぎながら、多くの人に愛され、次の世代へと受け継がれていきますように——。



やいたふるさとまつり実行委員会